

## 海外進出計画・事業提携計画の立て方

よく使われる計画書フォーマット付き!

### 海外進出計画・ 事業提携計画の 立て方

泉 仁史 著



泉 仁史 著

同友館

A5判 204頁

定価 2,100円（税込）

かつて大手メーカーで発電プラント事業を担当し、海外との事業提携・輸出案件のマーケティングや契約に数多く携わった経営コンサルタントの著者が、海外進出のプロセスを解説する入門書として上梓したのが本書である。

第1部では、経営理念に始まり、損益・資金・投資計画に至るまでの一連の海外進出計画策定について、第2部では、外国企業との事業提携（合弁会社設立、製造委託など）の検討ポイントについて、第3部では、貿易取引条件（FOBなど）や英文契約書の留意点など輸出の基礎知識について、それぞれ解説している。

本書は、海外進出に関する主要な論点を解説し、計画

書やチェックシートのフォーマットも提示するなど、実務書としての期待に応えている。一方で著者は、海外進出を成功させるには、ミクロな専門知識にとらわれることなく、マクロな視点に基づいた全体マネジメントが必要と主張し、事業の全体像の俯瞰を読者に促している。

読後の感想としては、国内事業との最大の違いは技術漏洩、税務などのリスクの大きさであることがわかった。著者は、リスクマネジメントについてできるだけ具体的に述べているが、この点については実務経験の重要性を感じられた。

海外進出は、中小企業向けの窓口相談などにおいて、必ずと言っていいほど相談が寄せられる重要なテーマである。本書は、海外進出についての格好の実務入門書であり、知識を整理しておきたい方には一読を勧めたい。  
(著者は大阪府中小企業診断協会会員)



評・前田 裕和

(宮崎県中小企業診断士協会)